

【感染防止対策・熱中症予防】

新型コロナウイルスの主な感染経路は、接触感染と飛沫感染だと考えられています。そのため、与野下落合サッカースポーツ少年団では、少年団活動時の対策として、以下について徹底いたします。

感染拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 検温の徹底（感染防止対策）

少年団活動に参加する場合は、必ずご家庭で検温を行い、健康観察記録表に記載、保護者確認印を押印の上、グラウンド到着時に指導者等に提出すること。

(注)・指導者、保護者その他全ての参加者についても、クラスター発生時に備えるため、検温を行い、健康観察記録表を提出すること。

- ・検温を忘れた場合は、グラウンド到着時に指導者等が検温すること。
- ・健康観察記録表チェック項目に1つ以上「あり」がついた場合は、活動参加を中止し自宅で様子をみることに。

2 マスクの着用（感染防止対策）

団員は自宅からグラウンドの行き帰りはマスクを着用すること。

指導者、保護者その他全ての参加者については、常にマスクを着用することを基本とし、練習中は周囲の人との距離（2m以上、最低でも1m）を空けることで、マスクをはずしてもよい。ただし、飛沫防止が必要な場面においては、各自の判断で適宜着用すること。

3 手洗い・うがいの励行（感染防止対策）

全ての参加者は活動開始前と終了後に、体育館外水道で手洗い・うがいを行うこと。

4 ビブスの使用（感染防止対策）

ビブスは学年管理とし、学年指導者の判断により個人管理を認める。その際、使用後は団員の家庭において洗濯をお願いするため、持ち帰り忘れや紛失には十分注意すること。

5 こまめな休憩と水分補給等（感染防止対策・熱中症予防）

指導者等は、全ての参加者に対してこまめな休憩と水分補給を行わせること。なお、水筒・ボトルの共用はしないこととし、中身は次のとおりとすること。

- ・水又は麦茶（1リットルにつき塩1つまみを加えたもの）
- ・スポーツドリンク（2分の1の濃さに水や氷で薄めたもの）

また、濡らしタオルは各自用意し、学年バケツでのすすぎ等を行わないこと。

6 帽子の着用（熱中症予防）

団員は常に帽子を着用すること。

7 屋外トイレ等の消毒（感染防止対策）

指導者等は、活動の開始前及び終了後に、屋外トイレのドアノブ・水道蛇口、体育館外水道蛇口等の消毒を行うこと。また、必要に応じて使用した練習用具等も消毒し、整理整頓し、最後に倉庫の施錠を行うこと。

8 活動時間の厳守（感染防止対策）

活動の開始時間及び終了時間を厳守することとし、指導者等は、全ての参加者に対して活動終了後は、速やかに解散し帰宅させること。